

# 第5回さいたま市総合振興計画推進本部会議 次第

日時 平成31年3月11日（月）  
午前9時15分～午前9時45分  
場所 政策会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 題

(1) 総合振興計画審議会第2回総会資料（案）について

(2) その他

4 閉 会

## 【配付資料】

- 資料 1 本日の目的
- 資料 2 第 1 回総会意見整理表
- 資料 3 各専門部会の審議事項
- 資料 4 さいたまま市総合振興計画審議会 専門部会別委員名簿（案）
- 参考 1 さいたまま市総合振興計画審議会第 2 回総会 次第（案）
- 参考 2 次期総合振興計画の全体構成（目次）（案）について
- 参考 3 総合振興計画審議会の進め方等について  
（総合振興計画審議会のスケジュール（案））

## 本日の目的

---



第1回の総会では、計画の全体像（案）及び検討体制についてご審議いただきました。  
本日は、第1回の審議会での審議内容を踏まえて、今後の各専門部会の審議事項の概要についてご説明させていただいた上で、各専門部会の委員の指名を行います。

## 第1回総会意見整理表

	意見	今後の方向性
1	ICT、AIなどのテクノロジーをどう取り込んでいくのか、もっと検討していく必要があるのではないか。 教育や福祉などあらゆる分野で活用が見込まれるもの。 重要な問題であり、専門家を追加招集すべきでは。	今後の市政における「課題」としてとらえ、施策の効率性の向上・効果の向上のために、いかに取り入れるかを「高品質経営市役所」の中に位置付ける方向で、第1部会で審議する。 専門家の追加招集については、高品質経営市役所を審議していく中で、追加招集等が必要となれば、改めて検討する。
2	SDGsの達成に向けて、さいたま市としてどうするかを計画に位置付けるべきではないか。	今後の市政における「課題」としてとらえ、SDGsへの貢献について、「重点戦略3 このまちを未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりの戦略」の中に位置付ける方向で、第1部会で審議する。
3	重点戦略の、4つの強み、2つの優位性は、具体的に表現しないと解らないのではないか。	今後は、分かりやすいように「環境 健康・スポーツ 教育 という4つの強みを生かした「幸せ」を実感できる戦略」、「交通の要衝 災害に強い という2つの優位性を生かし、市民や企業から選ばれ、成長・発展する戦略」と表現する。
4	重点戦略について、良い点を伸ばすという考え方で良いのか、課題への対応も考えていくべきではないか。	重点戦略の考え方については、第1部会で審議する。
5	どういった生活が「上質な生活」なのか、どういう活動をするのが「東日本の中核」なのか、将来都市像を具体化する必要があるのではないか。	将来都市像の具体化については、重点戦略の在り方とともに検討する方向で、第1部会で審議する。
6	健康は非常に重要な分野である。 健康・スポーツとの考え方で良いのか。 スポーツだけでなく、人とのコミュニケーションや居住環境など、幅広い分野に関わるのではないか。	人とのコミュニケーションや居住環境など、「健康」の分野を幅広く捉えた場合、様々な分野にまたがる内容となり、分野別計画として検討することにそぐわないことから、第1部会において重点戦略への位置づけを検討する。 また、第1部会における検討結果を踏まえ、健康・スポーツの分野の考え方については、第2部会で検討する。

## 各専門部会の審議事項

---

### 第2回審議会資料

都市経営戦略部  
平成31年3月28日



もっと身近に、  
もっとしあわせに

# 目次

---

## 1 第1部会審議事項

- 01 第2部 重点戦略
- 02 第4部・第1章 市民協働・公民連携
- 03 第4部・第2章 高品質経営市役所
- 04 第4部・第3章・第1節 将来都市構造の基本的考え方
- 05 第4部・第3章・第2節 拠点等におけるまちづくり

## 2 第2部会審議事項

- 01 第3部 分野別計画

## 3 第3部会審議事項

- 01 第4部・第3章・第3節 区の特徴を活かしたまちづくり

# 1 第1部会審議事項

第1部 計画の全体像

第2部 重点戦略

戦略1 戦略2 戦略3

第3部 分野別計画

第1章 コミュニティ・人権・多文化共生

第4章 教育

第7章 子育て

第10章 防災・消防

第2章 環境

第5章 生活安全

第8章 文化

第11章 経済・産業

第3章 健康・スポーツ

第6章 福祉

第9章 都市インフラ

第4部 質の高い都市経営の実現

第1章 市民協働・公民連携

第2章 高品質経営市役所

第3章 将来都市構造の基本的な考え方

及び地域別まちづくり（拠点等のまちづくり、区の特徴を活かしたまちづくり）

第1部会では、第2部重点戦略及び第4部質の高い都市経営の実現の区の特徴を活かしたまちづくり以外の部分について、ご審議頂きます。

# 1 第1部会審議事項01（第2部 重点戦略）

重点戦略1 環境、健康・スポーツ、教育という4つの強みを生かした「幸せ」を実感できる戦略

重点戦略2 交通の要衝、災害に強いという2つの優位性を生かし、市民や企業から選ばれ、成長・発展する戦略

重点戦略3 未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりの戦略

第2部「重点戦略」では、分野別計画を受けて、将来都市像の実現に向けて限られた経営資源を重点的に配分すべき内容について記載します。「重点戦略1」では、環境、健康・スポーツ、教育という4つの強みを生かした「幸せ」を実感できる戦略について記載します。「重点戦略2」では、交通の要衝、災害に強いという2つの優位性を生かし、市民や企業から選ばれ、成長・発展する戦略について記載します。「重点戦略3」では、日本の人口減少対策という重大な課題に対応しながら、このまちを未来に引き継いでいくための戦略を示します。

# 1 第1部会審議事項02（第4部・第1章 市民協働・公民連携）

---

## 第1節 多様な主体とともにつくるまちづくり

第4部第1章「市民協働・公民連携」では、多様な主体が、地域の課題解決や社会環境の変化への対応などに向けて、主体的に取り組むことにより、暮らしやすい地域社会の実現を図ることを目的として、その取組を示します。

# 1 第1部会審議事項03（第4部・第2章 高品質経営市役所①）

第1節  
市民から信頼される  
開かれた市政運営

第2節  
健全財政の維持

第3節  
市政を支える職員の  
育成と働く環境の整備

第4節  
高品質な施策を生み出す  
ための仕組み

第5節  
真の分権型社会を担う  
自主的・自立的な都市の実現

第6節  
さいたま市の特徴を生かした  
都市の魅力の発信

第4部・第2章「高品質経営市役所」は、6つの節で構成され、質の高い（効果が高く、効率が良い）施策を生み出し、市民から信用・信頼される高品質な市役所を実現することを目的としています。

# 1 第1部会審議事項03（第4部・第2章 高品質経営市役所②）

## 第1節

市民から信頼される  
開かれた市政運営

広報、広聴、  
窓口サービスなど

## 第2節

健全財政の維持

歳出の削減、  
自主財源の確保など

## 第3節

市政を支える職員の  
育成と働く環境の整備

職員の人材育成や  
働き方など

第1節「市民から信頼される開かれた市政運営」では、市民参加のための基礎を固めるため、市民が市政に参加しやすい環境づくりについて記載します。第2節「健全財政の維持」では、必要な市民サービスを持続可能かつ的確に行うための財政運営について記載します。第3節「市政を支える職員の育成と働く環境の整備」では、市政を支える人づくりのための、職員の育成と、職員が能力を最大限発揮できる環境の整備について記載します。

# 1 第1部会審議事項03（第4部・第2章 高品質経営市役所③）

## 第4節

高品質な施策を生み出す  
ための仕組み

指標による計画の進行管理、  
ICT技術の活用など

## 第5節

真の分権型社会を担う  
自主的・自立的な都市の  
実現

地方分権改革、  
広域行政など

## 第6節

さいたま市の特徴を生か  
した都市の魅力の発信

地域資源や「住みやすさ」  
などの市の魅力の発信

第4節高品質な施策を生み出す仕組みでは、市役所を効果的で効率的な姿に作り上げていく仕組みについて記載します。第5節真の分権型社会を担う自主的・自立的な都市の実現では、地域の実情に応じた行政運営と今後の首都圏を見据えた広域行政の推進について記載します。第6節さいたま市の特徴を生かした都市の魅力の発信では、本市の特徴を生かし、「住みやすさ」のブランド力を育むことについて記載します。

# 1 第1部会審議事項04（第4部・第3章・第1節 将来都市構造の基本的な考え方）

将来都市構造の方向性  
（多核集約・連携型都市構造など）

将来都市構造を構成する要素  
（拠点、都市軸など）

将来都市構造の方向性では、人口減少・超高齢社会といった課題などを踏まえ、今後本市が目指すべき都市空間の骨格について、その方向性を記載します。

将来都市構造を構成する要素では、将来都市構造の方向性を踏まえ、将来都市構造を構成するために必要となる要素について記載します。

# 1 第1部会審議事項05（第4部・第3章・第2節 拠点等におけるまちづくり）

都心・副都心におけるまちづくりの概要

（都心・副都心のそれぞれの地区におけるまちづくりの方向性など）

都心・副都心等における地域が主体となったエリアのマネジメント

（地域が主体となったエリアのマネジメントの必要性、体制づくりなど）

都心・副都心におけるまちづくりの概要では、都心・副都心における各地区の特徴を生かしたまちづくりの方向性などについて記載します。

都心・副都心等における地域が主体となったエリアのマネジメントでは、都心・副都心等において、住民や事業者等が主体となってまちづくりを進めるマネジメントの趣旨や必要性などについて記載します。

## 2 第2部会審議事項

第1部 計画の全体像

第2部 重点戦略

戦略1 戦略2 戦略3

第3部 分野別計画

第1章 コミュニティ・人権・多文化共生

第4章 教育

第7章 子育て

第10章 防災・消防

第2章 環境

第5章 生活安全

第8章 文化

第11章 経済・産業

第3章 健康・スポーツ

第6章 福祉

第9章 都市インフラ

第4部 質の高い都市経営の実現

第1章 市民協働・公民連携

第2章 高品質経営市役所

第3章 将来都市構造の基本的な考え方

及び地域別まちづくり（拠点等のまちづくり、区の特徴を活かしたまちづくり）

第2部会では、第3部分野別計画について、ご審議頂きます。

### 3 第3部会審議事項

第1部 計画の全体像

第2部 重点戦略

戦略1 戦略2 戦略3

第3部 分野別計画

第1章 コミュニティ・人権・多文化共生

第4章 教育

第7章 子育て

第10章 防災・消防

第2章 環境

第5章 生活安全

第8章 文化

第11章 経済・産業

第3章 健康・スポーツ

第6章 福祉

第9章 都市インフラ

第4部 質の高い都市経営の実現

第1章 市民協働・公民連携

第2章 高品質経営市役所

第3章 将来都市構造の基本的考え方

及び地域別まちづくり（拠点等のまちづくり、区の特徴を活かしたまちづくり）

第3部会では、第4部質の高い都市経営の実現のうち、区の特徴を活かしたまちづくりについて、ご審議頂きます。

### 3 第3部会審議事項01（第4部・第3章・第3節 区の特徴を活かしたまちづくり）

区の特徴  
区マップ  
区の将来像  
まちづくりのポイント

第4部第3節「区の特徴を活かしたまちづくり」では、「区の特徴」、「区マップ」、「区の将来像」、「まちづくりのポイント」で構成し、地域の特性を生かし、区民に身近なまちづくりを進めます。

「区の特徴」では、区の地形、歴史や文化などの区の特徴や都市基盤・環境、地域資源、コミュニティといった区の現状や課題を示します。「区マップ」では、区内の道路や鉄道、コミュニティ関連施設、図書館、公園・スポーツ施設などの設置状況を示し、「区の特徴」と併せて、計画策定時における区の概要をまとめます。「区の将来像」では、地域の特性を生かし、区民に身近なまちづくりを進めるための基本的かつ大きな方向性を示します。「まちづくりのポイント」では、「区の将来像」を実現するために、区の現状と課題を踏まえた、まちづくりの取組みを示します。

## さいたま市総合振興計画審議会 専門部会別委員名簿(案)

部会	No.	委員名	団体等
第 1 部 会	1	内田 奈芳美	アーバンデザインセンター大宮副センター長
	2	岡本 祐輝	一般社団法人美園タウンマネジメント専務理事
	3	柏木 恵	一般財団法人キャノングローバル戦略研究所研究主幹
	4	齋藤 友之	埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授
	5	作山 康	芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授
	6	佐藤 徹	高崎経済大学地域政策学部教授
	7	永沢 映	特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事
	8	長野 基	首都大学東京都市環境学部准教授
	9	子吉 亮	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者
	10	平林 紀子	埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授
	11	松山 麻衣	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者
	12	宮本 恭嗣	さいたま市PPPコーディネーター

部会	No.	委員名	団体等
第 2 部 会	1	秋元 智子	認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉理事・事務局長
	2	大久保 秀子	浦和大学学長
	3	河野 公輝	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者
	4	桐淵 博	一般財団法人日本AED財団理事
	5	久保田 尚	埼玉大学大学院理工学研究科教授
	6	合谷 竜一	さいたま市PTA協議会副会長
	7	坂野 豊樹	さいたま観光国際協会常務理事
	8	鈴木 真由美	さいたま市民生委員児童委員協議会主任児童委員連絡会部会長
	9	高橋 行憲	さいたま市防犯協会副会長
	10	田中 岑夫	さいたま市自主防災組織連絡協議会会長
	11	塚崎 裕子	大正大学地域創生学部教授
	12	鶴見 清一	さいたま市文化協会理事長
	13	豊島 登	さいたま市立小学校校長会副会長
	14	鳥海 修一	さいたま市民生委員児童委員協議会副会長
	15	中野 勇	さいたま市障害者協議会会長
	16	松本 雅彦	さいたま市4医師会連絡協議会議長
	17	村山 和弘	公益財団法人さいたま市体育協会 専務理事兼事務局長
	18	矢部 憲春	さいたま商工会議所専務理事
	19	山崎 秀雄	社会福祉協議会常務理事
	20	山田 亜紀	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者
	21	渡邊 峻也	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者

部会	No.	委員名	団体等
第 3 部 会	1	秋元 秀夫	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者
	2	石川 憲次	次期総合振興計画(区の将来像)に係る南区検討懇話会代表
	3	礒田 俊輔	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者
	4	内田 幸枝	さいたま市総合振興計画市民ワークショップ参加者
	5	内田 奈芳美	アーバンデザインセンター大宮副センター長
	6	岡本 祐輝	一般社団法人美園タウンマネジメント専務理事
	7	小野 安史	次期総合振興計画(区の将来像)に係る大宮区検討懇話会代表
	8	川鍋 栄	次期総合振興計画(区の将来像)に係る北区検討懇話会代表
	9	齋藤 英一	次期総合振興計画(区の将来像)に係る見沼区検討懇話会代表
	10	島田 正次	次期総合振興計画(区の将来像)に係る西区検討懇話会代表
	11	鈴木 甫	次期総合振興計画(区の将来像)に係る緑区検討懇話会代表
	12	永沢 映	特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事
	13	長野 基	首都大学東京都市環境学部准教授
	14	藤枝 陽子	次期総合振興計画(区の将来像)に係る浦和区検討懇話会代表
	15	松本 敏雄	さいたま市自治会連合会会長
	16	三次 宣夫	次期総合振興計画(区の将来像)に係る岩槻区検討懇話会代表
	17	茂木 武久	次期総合振興計画(区の将来像)に係る桜区検討懇話会代表
	18	本澤 繁	次期総合振興計画(区の将来像)に係る中央区検討懇話会代表

(案)

さいたま市総合振興計画審議会 第2回総会

次 第

日 時 平成31年3月28日(木)  
午後1時30分～

場 所 市役所議会棟3階全員協議会室

- 1 開会
- 2 定足数の報告
- 3 議題
  - (1) 第1回総会の振り返りについて
  - (2) 専門部会について
  - (3) その他
- 4 閉会

**【配付資料】**

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次
- ・ 資料1 本日の目的
- ・ 資料2 第1回総会における意見整理表
- ・ 資料3 各専門部会の審議事項
- ・ 資料4 さいたま市総合振興計画審議会 専門部会別委員名簿 (案)

現行総合振興計画

次期総合振興計画（案）

基本構想

- 基本構想**
- 1 目的と期間
  - 2 都市づくりの基本理念
  - 3 将来都市像
  - 4 施策展開の方向
  - 5 実現に向けて

後期基本計画

- 後期基本計画**
- 第1部 後期基本計画の策定に当たって**
- 第1章 策定の趣旨
- 第1節 後期基本計画策定の目的と期間
  - 第2節 計画の構成
  - 第3節 計画策定の基本的な視点
- 第2章 時代潮流
- 第1節 人口減少・超高齢社会の到来
  - 第2節 経済のグローバル化の進行
  - 第3節 地球環境・エネルギー問題への意識の高まり
  - 第4節 安全・安心に対する意識の高まり
  - 第5節 地方分権と市民参加の進展
- 第3章 主要指標から見たさいたま市の状況
- 第1節 人口と世帯
  - 第2節 行財政
- 第4章 市民意識調査から見たさいたま市の状況
- 第5章 将来都市構造の基本的な考え方
- 第1節 将来都市構造の方向性
  - 第2節 将来都市構造を構成する要素
  - 第3節 土地利用の基本方針
- 第2部 重点戦略 ～のびのびシティ さいたま市戦略～**
- 重点戦略～のびのびシティ さいたま市戦略～
- 重点戦略1「次代を担う人材をはぐくむ都市 さいたま」の創造
- 重点戦略2「高齢者が元気に活躍する都市 さいたま」の創造
- 重点戦略3「イノベーションする都市 さいたま」の創造
- 重点戦略4「自然と共生し、低炭素に暮らす都市 さいたま」の創造
- 重点戦略5「みんなで安全を支える都市 さいたま」の創造
- 第3部 分野別計画**
- 第1章 環境・アメニティの分野
- 第1節 地域から取り組む「環境への負荷の少ない持続可能な社会」の実現
  - 第2節 ともに取り組み、参加する めぐるまち（循環型都市）の創造
  - 第3節 人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造
- みなさんも一緒に取り組んでみませんか？～みんなで創る“さいたま市の未来”～
- 第2章 健康・福祉の分野
- 第1節 子育てしやすい都市の実現
  - 第2節 高齢となっても暮らしやすい都市の実現
  - 第3節 誰もが地域の中で自分らしく暮らせる都市の実現
  - 第4節 心身ともに健康で活気に満ちた社会の実現
- みなさんも一緒に取り組んでみませんか？～みんなで創る“さいたま市の未来”～
- 第3章 教育・文化・スポーツの分野
- 第1節 希望をはぐくむ教育の推進と青少年の健全育成
  - 第2節 生涯を通じた学びの充実とその成果の活用
  - 第3節 健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現
  - 第4節 生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造
- みなさんも一緒に取り組んでみませんか？～みんなで創る“さいたま市の未来”～
- 第4章 都市基盤・交通の分野
- 第1節 低炭素で質の高い生活環境を提供する市街地の形成
  - 第2節 にぎわいや交流を創出する魅力的な都心・副都心の形成
  - 第3節 暮らしや交流、活力を支える交通体系の構築
- みなさんも一緒に取り組んでみませんか？～みんなで創る“さいたま市の未来”～
- 第5章 産業・経済の分野
- 第1節 活力ある地域産業を育てる環境の整備
  - 第2節 さいたま市の特性を生かした新たな産業の創造
  - 第3節 地域経済を支える人材の育成と就労支援
- みなさんも一緒に取り組んでみませんか？～みんなで創る“さいたま市の未来”～
- 第6章 安全・生活基盤の分野
- 第1節 災害に強い都市の構築
  - 第2節 交通事故や犯罪の少ない生活環境の形成
  - 第3節 安全・安心な生活基盤づくり
- みなさんも一緒に取り組んでみませんか？～みんなで創る“さいたま市の未来”～
- 第7章 交流・コミュニティの分野
- 第1節 人権尊重社会の実現
  - 第2節 ふれあいのある地域社会の形成と活性化
  - 第3節 多文化共生・世界に開かれた都市づくり
- みなさんも一緒に取り組んでみませんか？～みんなで創る“さいたま市の未来”～
- 第4部 各区の将来像**
- 西区・北区・大宮区・見沼区・中央区・桜区・浦和区・南区・緑区・岩槻区
- 第5部 計画推進の基本的な考え方**
- 第1章 市民と行政の協働
- 第1節 市民と行政の協働の推進
- 第2章 将来を見据えた行財政運営
- 第1節 持続可能な行財政運営の推進
  - 第2節 市民に身近で、はやい区行政の実現
  - 第3節 真の分権型社会を担う自主的・自立的な都市を目指す



**第1部 計画の全体像**

- 第1章 都市づくりの目標
- 第1節 策定にあたって
  - 第2節 将来都市像
    - ・上質な生活都市
    - ・東日本の中枢都市
  - 第3節 都市づくりの基本理念
    - ・「市民と行政の協働」
    - ・「人と自然の尊重」
    - ・「未来への希望と責任」
- 第2章 計画策定にあたっての基本的な考え方
- 第1節 基本的な枠組み（計画の位置づけ・計画の構成・計画の期間）
  - 第2節 さいたま市の魅力
  - 第3節 都市づくりの課題
- 第3章 将来都市像の実現に向けて
- 第1節 重点戦略・分野別計画
  - 第2節 質の高い都市経営の実現

**第2部 重点戦略**

- 重点戦略1 4つの強みを生かし、「幸せ」を実感できる戦略
- 重点戦略2 2つの優位性を生かし、市民や企業から選ばれ、成長・発展する戦略
- 重点戦略3 未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりの戦略

**第3部 分野別計画**

- 第1章 コミュニティ・人権・多文化共生
- 第2章 環境
- 第3章 健康・スポーツ
- 第4章 教育
- 第5章 生活安全
- 第6章 福祉
- 第7章 子育て
- 第8章 文化
- 第9章 都市インフラ
- 第10章 防災・消防
- 第11章 経済・産業

**第4部 質の高い都市経営の実現**

- 第1章 市民協働・公民連携
- 第2章 高品質経営市役所
- 第3章 将来都市構造の基本的な考え方及び地域別まちづくり

# ◆総合振興計画審議会の進め方等について

## ■総合振興計画審議会のスケジュール（案）

